

個別に事情聞く

水俣病補償処理委員 27日再び現地視察

水俣病補償処理委員会（千種座夫座長）は二十日午後、東京・日比谷の松本楼で会合、二十七日に再度現地視察することを決めた。

今度の視察はことし六月に次いで二回目。前回はチツソ水俣工場の施設視察と患者全体との話し合いなど包括的なものだったが、今回の視察ではいわゆる調停派の患者と個別に会い、事情聴取をする

ことにしている。同委員会では出来れば補償あつせん案をも含めた具体的な問題についても話し合いたいとしている。

この視察には千種座長ら委員三人に城戸公害部長ら厚生省の担当官が同行する。細かなスケジュールは今後決めるが、二十六日夜現地に集合、二十七日は患者にこれまでの経過を説明するほか、水俣

病関係の医学者と懇談、さらにチツソ水俣工場側から事情を聞く予定。

なお、この日の委員会では千種座長らは、チツソの入江専務ら会社側三人を招き、検討経過と現地視察計画を説明した。